

2/28 未対

トマホーク購入400発

単価は米の倍

1発5億円か

岸田文雄首相は27日の衆院予算委員会で、米国製の機動離巡航ミサイル・トマホークを400発購入する予定だと述べました。

政府は昨年末に改定した安保3文書で敵基地攻撃能力の保有を明記。その一環として、米政府の武器輸出制度である「有償軍事援助

(FMS)」に基づき、トマホークを購入する方針です。

2023年度予算案にミサイル本体と専用の格納容器(キャニスター)を合わせた購入費211億5億円を計上していますが、これまで「実際の能力が明らかにならぬ」として購入数の開示を拒んできました。

首相は実際の単価を明りかにしませんでしたが、單純計算すれば、格納容器と純計算すれば、格納容器と

1発あたり約5億

2600万円となります。

一方、米海軍省の23年度予算書には、トマホークの単価は182万2025ドル、格納容器18万3350ドルと明記。現在の為替レート(1ドル=136円)で計算すれば約2億7,300万円になります。米政府は日本にて、国内単価の2倍近くで売り付けてくる可能性があります。